水陸両用チリ収集艇

事業内容 基礎工事・橋梁・防災製品

主要製品 橋梁 SqC ピア工法、硬質岩盤杭打込スーパーガイドパイル工法、津波避難シェルター、組立式自航艇など

従　　来

従来の低空間浚渫は、サンドポンプにより、水の底の砂利やヘドロなど沈殿物を吸い上げる。狭所での浚渫作業に使用できるが、ガレキ、転石、コンクリート殻などが混入すれば、目詰まることにより、作業も不可となる。

新技術・新工法

小型組立式で、運搬が容易、狭小な河川における作業に対応できる。低空間橋桁下構造物高さ2.8mあれば、支障なく掘削可能。陸上ではクローラー、水上ではスクリューを駆動させ、自走できる。スパッドの取付により、軟弱地、湿地帯と水上での安定作業が可能。

提案の狙い
- ☑ 原価低減
- ☐ 質量低減
- ☑ 生産（作業）性向上
- ☐ 品質／性能向上
- ☑ 安全／環境対策
- ☐ その他

適用可能な製品・分野
河川、ダム、浚渫、堤防、環境管理、洪水、都市計画、災害廃棄物

主要取引先
公共機関・民間

海外対応
☑ 可　☐ 否
[カンボジアとフィリピンで実績あり]

製造可能な精度・材質等
工期短縮
仮設足場を建設する必要がなく、即施工が可能。

組立解体式
組立式で、運搬が容易。陸上（10ｔトラック3台）、海上（40FTコンテナ3本）運搬が可能。

機動性
従来重機の進入が困難だった狭小河川や狭隘部での施工が可能。

ICT設置・GPSを利用した施工管理。

課題と対応方法
（今後の展開：ICT施工）
ICTを組み合わせることにより、目視できない水面下の掘削でも施工履歴データが出来形に反映され、コントロールパネルで確認できるため、丁張り・検測作業の削減が可能となり、作業効率や安全性の向上も繋がっている。効率的な稼働で燃料消費が抑えられ、環境負担を低減することができる。

パテント有無
☑ 有　☐ 無
[特許第6234774号]

従来との比較
コスト　コスト削減
質量　向上
生産・作業性　工期短縮

KOCHI SDGs
株式会社高知丸高
☎ 088-845-1510　088-846-2641
〒781-0014　高知県高知市薊野南町12-31
https://www.ko-marutaka.co.jp/
marutaka@ceres.ocn.ne.jp
HP

代表者：代表取締役社長 髙野 一郎 ■資本金：2,000万円 ■設立年月日：1967（昭和42）年9月11日 ■売上：900,000万円 ■従業員数：104人